

鳴立庵だより

鳴立庵とは、江戸時代から続く俳諧道場である。

初代庵主大淀三千風が開き、現在では京都の落柿舎、滋賀の無名庵と並び日本三大俳諧道場と呼ばれているのでござるよ。



鳴立庵大使「えんいくん」

今月の俳句

黄金虫

食べる葉っぱは針葉樹

平塚市立富士見小学校 西海 伸哉

今月の短歌

キャッチしたはずのボールがネット揺らすわずかでいいんだ時を戻して

山口大学教育学部 附属光中学校 横道 玄

季題は「黄金虫」。「かなぶん」とも呼ばれ、金緑色のものが多いが、黒褐色のものもある。夏の夜など灯火を求めて家の中に入り込んでみたりする。高浜虚子の「金亀子擲つ闇の深さかな」といった句が有名で如何にも「コガネムシ」らしい。食性から「食糞類」と「食葉類」に大きく分けることが出来るというが、この句に登場するのは後者ということになる。「黄金虫」のことを調べているうちに、「針葉樹」の葉を食べることもあるのだと、知った喜びが俳句に詠まれている。

(鳴立庵庵主 本井 英)

野球でしようか、サッカーでしようか。あるいは他の競技かも知れませんが。仮に野球だとすれば、手に収まったはずのボールを実は逸らしていた。走者を目で追いつながら、!!と、気持ちが動揺します。「わずかでいいんだ」という呟きには、掛値のないその瞬間の口惜しさが籠っています。ひりひりとするような現場感の表現が、一首の魅力です。

(西行祭選者 今井 恵子)

講座の申込み・問合せ 鳴立庵 ☎(61)6926

講師 対象 定員 費用 持ち物

講座名	日程	時間	備考
講 談	3月8日(土)	開場 12:30 13:00~14:00	春の講談独演会 演者 田辺 いちか氏 定30人 費2,000円(入庵料込)
伝 筆	3月23日(日)	10:30~正午	温かみのある文字が書けるようになる筆文字教室 講認定講師 わでん伝筆マスター 宮前 礼子氏 対中学生以上 定10人 費3,850円(材料費込)
花の会	3月26日(水)	14:00~16:00	グリーンのガラスポットにかわいい春の花を使ったアレンジ 講府川 葉月氏 定15人 費2,500円(入庵料込) 持はさみ、タオル、持ち帰り袋
お茶の会	4月5日(土)	10:00~正午	緑茶好き必見! 釜炒り茶の味わいと魅力を探ろう 講高野 幸代氏 定10人 費2,000円(お茶菓子付き・入庵料込)

第68回 大磯西行祭

日時 3月30日(日)
10時30分~式典

内容 献香
献茶
入選句・入選歌献詠
献奏
献花
入選者表彰

※午後には、当日参加可能な俳句大会、短歌大会の開催を予定。詳細は鳴立庵ホームページでご確認ください。



「めいどいん おおいそ」に あなたの産品を登録してみませんか?



問大磯らしい潤いづくり協議会 (大磯町商工会)
☎(61)0871

「めいどいん おおいそ」とは

大磯町の様々な魅力ある地域資源を活用し、「食いたい」「買いたい」「見たい」「触れたい」「行きたい」となるような大磯の魅力を『ご当地太鼓判』として発信することで、消費者や来訪者に満足と感動を提供し、地域経済の活性化に寄与する制度です。

登録品になると、様々な特典が活用できます!

- 「ご当地登録産品ロゴマーク」シール・ステッカー等の活用
- 大磯らしい潤いづくり協議会が作成する冊子や施設等での周知・販促
- 大磯町商工会、大磯町観光協会ホームページ等での周知・販促
- 大磯らしい潤いづくり協議会が実施するイベントへの優待出店

ぜひ登録お待ちしております。